

令和6年度(2024年度)第7回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：令和6年(2024年)10月15日(火) 午前10時～午前11時

場 所：本部棟2階大会議室及びオンライン

出席者：○委員

学長	堤 裕昭
副学長	鈴木 元
事務局長	梅川 日出樹
文学部長	村尾 治彦
環境共生学部長	白土 英樹
総合管理学部長	宮園 博光 (リモート参加)
共通教育センター長	山田 俊
地域・研究連携センター長	石橋 康弘 (リモート参加)
デジタルイノベーション推進センター長	飯村 伊智郎
国際教育交流センター長	モロー ジェフリー スチュワート
熊本大学理事	宮尾 千加子
株式会社エフエム熊本相談役	荒木 正博
熊本県公立高等学校校長会長	田中 篤

○監事

公認会計士・税理士	吉川 榮一 (リモート参加)
弁護士	本田 悟士 (リモート参加)

○事務局

加藤事務局次長、柳田総務課長、堀口教務入試課長、山村入試班長、藤本教務入試課教務班参事、森木教務入試課教務班主事

○上記以外の出席者

文学研究科長 (文学部教授)	米谷 隆史 (リモート参加)
アドミニストレーション研究科長 (総合管理学部教授)	澤田 道夫 (リモート参加)

1 開会

2 学長挨拶

3 議事

(1) 審議事項

① 教員の採用について

(1) 文学部「Global Studies」

事務局総務課から資料1-1に基づき、教員採用について概略の説明があった。
続いて、村尾文学部長から、以下のとおり補足説明があった。

- ・「Global Studies」の分野で募集し、期間内に50名の応募があった。
- ・この中から分野の適合性等から3名を面接対象として選定。研究適合性、研究の範囲、論文の質、本学での教育への貢献の4点で評価した。その中から1名を選定し、8月の役員面接を経た。

- ・熊本大学に特任講師であった際、専門は移民の問題であるが、水俣病や熊本地震における地域の復興等にも関与している。研究業績等を勘案して准教授としての採用を内申する。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

(2) 環境共生学部「建築構造学」

事務局総務課から資料1-2に基づき、教員採用について概略の説明があった。
続いて、白土環境共生学部長から、以下のとおり補足説明があった。

- ・「建築構造学」の分野で3月から5月に募集し、期間内に1名の応募があった。
- ・本来は、「木質構造学」の枠を埋める募集であったが、同分野は研究者が少ないことから「建築構造学」に広げて募集を行った。結果木造建築を専攻とする1名から応募があり、9月の役員面接を経た。研究業績等を勘案して准教授としての採用を内申する。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

(3) 環境共生学部「建築設備工学・建築環境工学」

事務局総務課から資料1-3に基づき、教員採用について概略の説明があった。
続いて、白土環境共生学部長から、以下のとおり補足説明があった。

- ・「環境共生学部「建築設備工学・建築環境工学」の分野で募集し、期間内に8名の応募があった。
- ・この中から分野の適合性等から5名を面接対象として選定。経歴、これまでの研究歴、本学に来た際の抱負等をヒアリングし、公開プレゼン及び質疑応答で評価した。その中から1名を選定し、9月の役員面接を経た。
- ・研究業績等を勘案して講師としての採用を内申する。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

② 熊本県立大学特任講師の任用について

事務局教務入試課から資料2に基づき、特任講師任用について以下の通りの説明があった。

- ・令和4年度に熊本大学と東海大学と3大学で採択された地域活性化人材育成事業（SPARC）の専任講師について、総合管理学部長からの推薦があった。データサイエンスに精通しており、適任であり、同事業に貢献できるとのことであった。
- ・ご承認いただければ、今後の経営会議での審議を経て11月1日採用となる。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

③ 令和7年度（2025年度）春季入学入学者選抜（大学院文学研究科・秋季募集）にお

ける合格者の決定について

事務局教務入試課から、資料3-1に基づき、本会議で承認いただけたら、本日13時30分から合格発表を行う予定との概要説明があった。引き続いて、米谷文学研究科長から資料3-2、3-3に基づき補足説明があった。

- ・博士前期課程日本語日本文学専攻では、一般選抜に1名が志願した。また、博士前期課程英語英米文学専攻では、一般選抜（国際協力枠）に1名が志願した。
- ・両専攻共、9月28日（土）に入学選抜を実施し、各1名が受験した。
- ・10月1日（火）開催の文学研究科委員会において、合否判定がなされた。
- ・博士前期課程日本語日本文学専攻の試験の配点は、専門科目100点、面接30点、計130点。
- ・受験者は総得点6割以上の合格基準を満たしており合格と判定した。
- ・博士前期課程英語英米文学専攻の試験の配点は、専門科目300点、面接100点、計400点。
- ・受験者は総得点の6割を満たしておらず不合格と判定した。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

④ 令和7年度（2025年度）春季入学入学者選抜（大学院アドミニストレーション研究科・秋季募集）における合格者の決定について

事務局教務入試課から、資料4-1に基づき、出願状況について説明があった。引き続き、澤田アドミニストレーション研究科長から補足説明があった。

- ・博士前期課程の一般選抜に1名が志願し、9月28日（土）に試験を実施したものの、本人は受験せず。欠席のため、10月3日（木）の研究科委員会で失格と判定した。
- ・本人からは、直前に試験の辞退の連絡があったが、辞退による試験中止という手続きを定めていないため、試験は実施したものの、他大学院に合格した模様。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

（2）報告事項

① 令和6年度非常勤講師の採用（追加分）について

事務局教務入試課から、資料5に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・共通教育センター開講科目「生涯スポーツ実習Ⅱ」において非常勤講師の採用が急遽必要となったため、規則に基づき、教育研究会議前に採用手続きを行い、9月9日に採用した。

② 令和5年度業務実績評価及び第3期中期目標期間業務実績評価について

事務局企画調整室から、資料6に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・6月に熊本県公立大学法人評価委員会に提出した「令和5年度業務実績に係る業務実績報告書」について、県からその評価について通知があった。

- ・全体の総括としては、着実に成果をあげたと評価できるとの内容であった。ただし、「課題」として2点あり、大学院の受け入れ促進について、収容定員充足率が令和5年時点でアドミニストレーション研究科が目標を下回ったこと、また、令和6年度入学者選抜における学部志願者数が1,882人で、検証指標の2,000人を下回ったことが指摘されている。
- ・第3期中期計画の業務実績評価については、6年間を通して着実な成果を上げたとの評価をいただいている。

4 その他

来月の開催日程

令和6年度(2024年度)第8回 11月1日(金) 午前10時～ 本部棟大会議室

令和6年度(2024年度)第9回 11月18日(月) 午後2時30分～ 本部棟大会議室

5 閉会